みんなのひろば

身近な話題や、部落での催し物などがありましたら広報係（２－1115）までお知らせください。
掲載された写真をほしい方は、広報係まで。

花と踊りの毎日

市原つねさん（本町）

「生活に、花と踊りがないと張り合いがありません」と話す市原さん。

庭には菊、バラなどの草花、サツキ、ツバキ、梅もどきなどの花木、そして、松や梅の盆栽が所せましと並べられ、そのどれもが、きれいに形づくられています。

「四季の花はほとんどありますから、一年中、花をきらしたことはありませんね。また、日影で一か月ぐらい乾燥させると、一年ほどもちますね。ホホズキやニラなんかも作ってありますよ」とにこやかに話す市原さんは、たくさんの人に会えて、健康のためにもいいので、老人クラブの方がたと踊りをやっているそうです。

庭には、菊の花が満開で、昨年、旅行したときに買ってきたという花梨の花が、大きな実をつけていました。

今回は、花に踊り、そして母子福祉推進員として活躍されている、本町の、市原つねさんをお訪ねしました。

▲ 花木の手入れに余念がない

▶きれいに作られた乾燥花

横芝俳壇

横芝句会十一月例会

柿紅葉彩を極めて喜寿の宴　土屋　栗水
影連れて刈田の鷺のゆるき歩度　成田　慄子
朝寒の門出て左右共稼ぎ　宇井　芝童
朝寒や童謡鳴らす園児バス　藤代　ゆう
朝寒や鉄扉を開けて出勤す　向後　雅子
朝寒やポストへ託すお礼状　津田　若菜
朝寒や一人帯締む姿見に　鈴木　南知
刈田道白々町へ一すじに　若梅あやめ
朝寒や愚直のいのちいとおしむ　山崎　峰水
そこばくの孤りの水仕朝寒み　五木田烟花
来意まだ菊に讃辞を重ねおり　住母家千夫
海峡の朝寒くなる鳴のいろ　石毛　石汀
朝寒やガラスの如く光る空　木下石果子
柿落葉宵の緋鯉の昂りぬ　池田　和代
参道の日矢煙らして落葉焚き　安井ゆづる
河口湖富士を浮べて冬に入る　佐久間久子
鳶ゆるく何求むるか大刈田　行方まさし

次回日時　一月五日
兼題　福茶　初霞

横芝の碑（一〇七）

木戸台と中台の馬頭観音

木戸台に増福寺という寺があり、この寺の山門を入ったすぐ右側に、騎乗姿の馬頭観音と、小屋に納まった馬頭観音の供養塔が建っています。観音石像の正面には本尊が、側面には文化二年（一八〇五）二月吉日、願主村中と刻まれています。供養塔は、正面に刻まれた馬頭観世音菩薩の七文字だけは読みとれますが、小屋の棚に遮られ、建立年月などは読みとれません。

一見かかわりを持っていると思われるこの二体は、全く別のものだということです。本尊の石像は、元は木戸台集落の南端に建っていたのですが、道路拡張などの事情でここに移したもの。供養塔は、近くの農家で火災が発生し、その災難にあった馬の霊を弔って建てたもの、だそうです。寺の庭で遊んでいた子供さんに「この石像を知っている」と聞くと、「おじいちゃんが、火事の神様だと言っていたよ」という返事でした。その時は、木戸台が水脈に恵まれていないので、火災に対する警戒心を信仰に